

平成27年度看護部現任教育計画書

教育目的: 専門職業人として主体的に質の高い看護が実践できるよう、それぞれの成長段階に応じた教育的支援を行う。

教育目標: 当院の担当看護師として自立し、より専門的な看護領域を深めるために必要な臨床実践能力を育成する。

①看護部職員一人ひとりが責任を負える良質な看護を提供できる②看護実践の能力を養い、自信と責任がもてる看護ケアを提供できる

③リーダーシップ能力を育成する(管理能力、問題解決能力、人間関係調整能力)④教育、研究能力を育成する。

研修名	対象者	目的	到達目標	内容および方法	予定期間	担当講師	評価方法
新人	新卒 他施設からの転入 看護師	①円滑な職場適応 ②基本的な看護技術の習得	①円滑な職場適応ができる ②基本的な看護技術の習得ができる	オリエンテーション(集合) 技術トレーニング(集合) プリセプターシステム(OJT)	4/1・2	プリセプター	アンケート チェックリスト
人間関係	新人・I・II・III	I	自分の傾向に気付き、肯定メッセージを送る難しさ、受け取る心地よさを体験する	人とのかかわりの中で『自分』に気付くことができる	エゴグラム(集合)		
		II	自己と他者との捉え方を知り、相互に肯定的な関係に近づける	自分と違った存在としての「他者」を感じることができる			
		III	自己と他者の価値観に気付き、お互いの存在を肯定的にとらえることができる	人それぞれの価値があることを理解することができる			
リーダー教育	II以上	リーダーとしての役割行動を理解し、リーダーシップ能力を高める	リーダーシップについての理解を深め、リーダーとしての行動がとれる	リーダーシップ(集合) 講義			
	I～III	先輩や新人への教育的かかわり、指揮を通して振り返るとともに指導能力を高める	プリセプターシップを理解し、プリセプティの指導ができる	プリセプターシステム(OJT)		プリセプター	各担当者より評価
看護診断	全員	I	看護過程(診断)を理解することができる	看護過程(診断)の必要性と構成要素が理解できる	講義(集合)		アンケート
		II	看護診断ができる	客観的情報とアセスメントが理解でき、看護問題が抽出できる	講義(集合)		終了テスト
		III	先輩に指導できる	実践可能な看護診断ができる	講義(集合)		看護過程の展望
救急看護	全員	I	救急看護に関連する基礎的知識・技術を身につける	①救命に必要な基礎的知識・技術を習得する ②基礎的なME機器の取り扱い注意点を理解する	講義(集合)BLSおよびACLS ME機器の取り扱い		終了テスト
		II	救急場面における看護師の役割を理解し、実践能力を身につける	①自己の看護観を振り返り、看護実践能力を高める ②救急場面におけるリーダーシップ能力を高める	講義(集合)急変時のリーダーとしての役割		ケースレポート
医療安全	全員	I	医療安全・感染についての概要を理解する	マニュアルに沿って行動できる	講義(集合)		アンケート
		II	事故を他覚的に捉えられ、再発予防が考えられる	事故分析ができる	講義(集合)		ケースレポート
看護研究	全員	I	日常ケアの疑問を持つ能力を養う	日常ケアの疑問を解決することができる	講義(集合)		レポート提出
		II	主体的に看護研究に取り組める		講義(集合)研究とは・計画書作成・論文の書き方		レポート提出
目標管理	准看護師・助手	病院基本理念・看護理念に基づき、看護部職員としての成果を達成できる	部署目標と事故もKuk表の立案ができる	OJT			情意評価表
トピックス 褥瘡ケア	全員	褥瘡予防について理解できる	褥瘡予防について日常のケアが理解できる	講義(集合)			アンケート
アロマテラピー	全員	アロマテラピーについて理解できる	心身のリラックス感を体験できる	体験学習(集合)			アンケート
OJT	※ 実際の仕事の場において、部下の育成指導 ※ 目標面接による個々の目標設定の確立と、生化達成のための支援態勢が整えられる						
自己研鑽	病院全体の研修 院外研修 東京都看護協会主催研修		【研修費用の捻出に対する支援】 1. 協会員であるもの 2. 看護研究助成費 1万円				

※対象者全員の教育については看護職員全員が対象となり自由参加とする